

補正予算
全会一致
で可決



平成29年度の補正予算も今回の定例会で審議しました。補正予算議案の中から注目すべき国民健康保険特別会計を取り上げます。

国保の赤字解消のため一般会計より国民健康保険特別会計へ10億円の繰り入れ

今回の平成29年度補正予算で中期財政計画で示した国保の赤字解消を行うため、一般会計より10億円の繰り入れを行いました。本町の国民健康保険特別会計は平成20年度以降赤字決算となり、今では累積赤字が16億円となっています。平成35年度までに国保の赤字を解消する予定です。

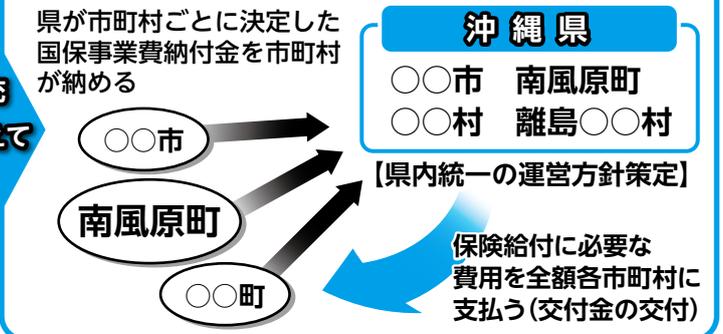
国民健康保険は今年度から県単位化されました。これまで国保制度を担ってきた市町村と新たに県が加わり、どちらも保険者として国保事業の安定化に取り組みます。県単位化となっても、これまでの赤字は各市町村で解消しなければなりません。町の貯金を取り崩して、国保の赤字に充てる特別な措置を取りました。

〇〇 県単位化のイメージ 〇〇



国の財政支援拡充
県も市町村に加えて
保険者となる

これから 県が財政運営責任を担うなど中心的役割



人事
全会一致
で可決

派遣議員の選出がありました。

議員の辞職について

照屋仁士議員から辞職願が提出され、議会の許可を得て、平成30年3月20日付けで南風原町議会議員を辞職しました。

【東部消防組合議員】
照屋仁士議員の辞職に伴う、派遣議員の選出がありました。



大城 毅 議員



知念 富信 議員

【南部広域行政組合議員】
一部事務組合の統合に伴う派遣議員の選出がありました。